

製造業及び物流関連業 企業による 「沖縄力発見ツアー2015」



酒井政務官

～ 沖縄への投資促進や新たな産業の創出・振興を目指して～



那覇空港貨物ターミナルビル（ANA）の視察

アジアの中心に位置する沖縄県は、その地理的優位性及び24時間の通関体制により、深夜に那覇空港に届いた貨物を翌朝にはアジア

今回のツアーでは、那覇空港貨物ターミナルビル（ANA）、国際ロジステクスセンター4号棟及び那覇国際物流コンテナターミナル等、沖縄国際物流ハブの中心となる施設の視察を行いました。

視察

県外から参加された企業の方々と、酒井内閣府大臣政務官、浦崎沖縄県副知事、県内経済関係者等の方々が一堂に会し、ワーキング・ディナーを実施しました。
各参加者は、県内企業、大学・研究機関や業界団体等との情報交換を行い、相互の交流を深めました。

ワーキング・ディナー

内閣府では、2月4日から2月5日にかけて、県外の製造業及び物流関連業の代表者等の方々に沖縄の豊かな地域資源や優れたビジネス環境等を実感していただく、「沖縄力発見ツアー2015」を実施しました。
今回のツアーでは県外企業17社が参加し、那覇空港貨物ターミナルビルや那覇国際コンテナターミナル等の国際物流拠点施設の視察を行うとともに、株式会社沖縄先端加工センターの視察や物流特区内に立地する製造業等三社からのプレゼンテーション、意見交換等を行いました。

主要都市へ配送することが可能となっています。

参加者は、各施設において沖縄国際物流ハブの概要や今後の方針について説明を受けたほか、実際に貨物の積み替えが行われる貨物上屋内や港湾の視察を行うなど、沖縄の物流拠点としての可能性を実感していただきました。



株式会社沖縄先端加工センターの視察

企業立地プレゼンテーション

沖縄IT津梁パーク内において、本土から物流特区内に立地する製造業等三社（株式会社ナノシステムソリューションズ、株式会社食のかけはしカンパニー、オーピー・バイオ・ファクトリー株式会社）から沖縄で



ワーキング・ディナーにおける意見交換



立地企業からのプレゼンテーション

のビジネス展開におけるメリットや課題等についてプレゼンをしていただき、ツアー参加者との活発な意見交換を行いました。

ツアー参加者からの声

ツアー参加者からは、
▽税制措置や人材確保の観点から、製造業の立地の可能性はあると思われる。
▽LCCの増便や沖縄貨物ハブによるネットワークの更なる拡充により、沖縄県を通じてアジアの人・モノの流れが一層高まるのではないかと。
▽沖縄の地理的優位性を活用し、製造業の誘致（共同出資）を検討したい。
▽沖縄の優位性に関する本土の認識が未だ低いと思われるので、引き続き粘り強くPR活動を行っていく必要があるのではないかと。
といった意見がありました。
内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーでいただいた様々な方々のアドバイス、御指摘を今後の取組に活かしていきたいと考えています。